

便器でキャベツ!?

三 春

忘れもしないあの画像。

ソヴィエト崩壊前後のロシア経済はどん底で、庶民は物不足と貧困に喘いでいた。その頃に某ロシア人から回ってきたのは、便器でキャベツを洗っている写真だ。まさか実際にやっていたわけではあるまいが、そんな自虐的な（そして泥臭い）ブラックユーモアを思いつくところがいかにもロシア人らしい。

ところで最近、バルコニーの防水をやり直した。工事中は他人の出入りが多くて家を空けられないから、手をつけにくかった分野だ。コロナ巣ごもりは格好の機会でもある。

塗装屋は現状を一目見ただけで「これはプロの仕事じゃありませんね」と即座に見抜いた。それもそのはず、十五年ほど前にYouTubeの屋上防水工事動画を手本にした私と息子たちの仕事なのだから。あの夏も酷暑で、真っ黒に日焼けして、もう懲り懲りと半泣きで完成させた時は達成感もあった。それが今やウレタン塗膜の隙間から雑草が顔を出している。素人仕事の崇りで下地の状態が悪いので、特殊なシートを下張りする分だけ費用が高む。好奇心と面白半分とつまらぬ節約がとんだしっぺ返しを食った。

まずは、バルコニーの植木やガラクタを移動させる。屋内はすべて温室（倉庫？）と化した。八月下旬に工事開始、予報では好天続き、ほんの四〜五日で終わるはずだった。ところが開始翌日から天気急変、台風や断続的な雨に見舞われた。二日以上連続の晴天で完全に乾かさないと次の工程に進めない。今日が明日になり来週になり……工事は一向に進まない。

しかも、少し前の改築でキッチンをバルコニーに移設したせいで、工事中はキッチンで水を流せず換気扇もエアコンも使えない事態となった。浴室に座り込んで野菜や食器を洗い、調理は電子レンジとトースターが頼り。汗だくのザバイバル生活は想像以上に辛かった。

平和な日常に戻るまでおよそ四十日。その間に見た夢は、便器でせっせとキャベツを洗っている夢だ。

さあて、次は便座の上でこれを刻まなきや！